

# 【研修会について】



## ◆ 受講者内訳

研究者：429名      研究支援者：74名  
(受講対象者全員が受講を完了した)



## ◆ 受講者の意見・感想（一部抜粋）

- ・年々、新しい事項が増加したり、企業の変化等もあるので、年に1回の研修はやはり必要であると感じました。
- ・無知・誤解・認識不足によって、自分が不正を行っていないと思っても実は不正を行っていることになるのは大変危険なことなので、このような研修会でそれらを補ってゆきたく思いました。
- ・FFP、QRP、様々なオーサーシップなど、これまで大筋で知っていたことを詳しく知ることができた等、大変に有意義でした。
- ・学生に対する研究倫理教育は、学科や専攻ごとに任せておかないで、全学で行うべきと考える。専門の教員による講義で単位取得をさせると良いと思う。
- ・研究上のリスク、不正行為、オーサーシップ、それにハゲタカジャーナルなどについて良く理解できました。
- ・手元資料にないパワポの文字が小さく見えにくく、分かりにくいところがあった。
- ・研究不正の具体例が豊富なプレゼンテーションで理解しやすかった。ハゲタカジャーナル、ハゲタカ学会、オーサーシップについて特に新たに学ぶ点が多かった。
- ・「人文系」は分野毎に細かく作法が違うような印象を受けるので、分野毎のルールを詳しく知る機会がほしいと思う。
- ・最新の情報を今後ご提示いただけるとありがたいです。
- ・英語での資料があると非常にありがたく思います。

